

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	れもんキッズ監住	公表日	令和8年 3月 31日
------	----------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一室に人数が偏らないよう常に目配り必要に応じて部屋の移動を提案し指示して移動できている。</li> <li>・必要に応じて部屋を細かく分けている（活動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由遊びの時は狭く感じる。</li> <li>・あさがおの部屋でお子様の人数が多い場合、松陰の数もその分増えて支援において十分な広さが確保できていないと感じる。（自由遊びの際）</li> <li>・小部屋の扉が簡易的なので改善してほしい。</li> <li>・午後、危ないと感じる日もあるが、自由遊びの部屋数を増やすと支援者が足らなくなる日もある。</li> <li>・曜日によって子どもの数が今在籍している職員数では目が行き届かず、ケガをしたり誤食に繋がってしまったことがある。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイ・センター等それぞれがヘルプに入っている。</li> <li>・配置自体は適切であるが、活動内容や出勤状況によって配慮が必要となる為、可能な範囲での勤務の調整や声の掛け合い、活動内容の見直し等を行うことで、対応している。また、適宜求人募集をし、人材確保に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曜日や時間帯によって職員数の配置が足りないと感じる時がある。</li> <li>・十分な時とそうでない時がある。</li> <li>・適切ではあるが、日によって偏りがある。</li> <li>・こどもの状態によっては、マンツーマンの見守りが必要。職員数は足りていないと感じます。</li> <li>・ひまわり組は1人に対し1人の職員がつかないといけない日もあるので、その時に周りが見えないことがある。</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるところから行うよう心がけている。</li> <li>・必要と思われるところに矢印を表示し、分かりやすく対応できるよう工夫した。</li> <li>・建物の経年劣化も見られ始めている為、安全に・安心して過ごしていただけるよう対応していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭いので、必要なものが置けない事がある。各クラスに部屋が欲しい。</li> <li>・トイレの設備が大人用と同じなので、子どもが使いにくいでは思ったりしたことがある。鍵をかけられると困るので改善が必要だと思う。</li> <li>・トイレまで遠いと感じることが多いです。</li> <li>・「こどもにわかりやすく」については、課題だと思う。広いので特に構造化が必要だと思う。</li> <li>・玄関のコンクリート部分が転ぶとあぶないと思う。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝職員が掃除対応しているが、夕方はシルバーさんをお願いして清潔を保てるように気を付けている。また、月1回土曜日は、時間を多めにとり、エアコンフィルター等も定期的の実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しが悪いと感じる。</li> <li>・ほごりや食べこぼしが床や物置などに多く見られる。</li> <li>・床や壁紙が劣化しており、容易に剥がれたりすることで、中の材質がむき出しになっている。</li> <li>・床がフローリングではない場所があるので、拭きそうじが難しい。</li> </ul>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小人数への対応ができる部屋を設置し、必要に応じて活用できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の場所は無いように思う。</li> <li>・部屋はあるが、職員数が難しい時がある。</li> <li>・小さな部屋はとても使いやすい。</li> </ul>
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組んでおり、結果について職員研修で話し合ったり、コーディネーターより助言を受け、改善に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていると思います。</li> </ul>
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスミーティングや担当者ミーティングの実施や管理会議を実施することで、お互い把握できる機会を設けている。</li> </ul>	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や事業所見学の機会を積極的に持つよう心がけている。内容によって、希望者を募ったり、対象の職員に声をかけ、参加を促している。</li> </ul>	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	19	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種の実践者がいるので、さまざまな意見・考えのもと、活動を組むことができている。</li> </ul>
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	20	0		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	19	1	・直接支援に関わる職員の意見を確認したり、ケース会議を実施・内容をミーティングで周知・書類を回覧等して共通理解を図っている。	・「こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で」の部分不明。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	2	・アセスメントはどちらも取り組んでいる。	・インフォーマル・フォーマルなアセスメントの意味がよく分からない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	19	1	・活動プログラムによっては参加するメンバーも固定しないよう配慮している。 ・内容・利用児によっては同じ内容の活動を続けることで成功体験がある為、あえて固定する場合もある。	・固定することで、できるようになってくる子や安心して取り組める利用児も居る。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	20	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	2	・ミーティングを実施している。参加が難しい職員には、掲示や口頭で引継ぎをし、連携に努めている。	・必ず行っているか問われると、できていない日もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	2	・ミーティングを実施しているが、職員の勤務時間等によっては翌日に実施することもある。	・必ず行っているか問われると、できていない日もある。 ・現在、この時間が15分と短いので、以前に比べて話せる内容が少なくなっていると感じる。時間が取れる時はしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	2		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	1	・行なっている。	・モニタリングを定期的に行っている事業所とそうでない事業所がある。（外部の相談支援関連でそう感じる）	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	1	・必要に応じて、対応している。	・必要な児童には、引き継ぎ書を記入している。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	19	1		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	20	0		
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	15	5	・参加できる職員に限られているが、できる限り参加している。	・相談支援員は参加していると思う。	
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	11	・職員としては、地域の保育園や幼稚園等へ訪問させていただく等の機会はいただくことができています。	・外出先で子ども同士が仲良くなって遊ぶ姿を見る。 ・子ども同士の交流や活動を行う機会は、設けられていない。しかし、外出先で地域の子どもと交流を持つ機会はある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20	0	・連絡帳でのやりとりも大事にしている。 ・保護者様が仕事等で忙しく、連絡が取れない時は、ショートメールを利用してできる限り共通理解を図る機会を設けている。	・日によるが、伝えるよう心がけている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	5		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	2	・利用契約時に行っている。ご質問がある時には、お答えしている。また、特に利用者負担に関しての変更は、お知らせ配付等しながら対応している。	・不十分なところもあったと思う。加算について等。 ・私は説明する機会が無かった。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	20	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20	0	・助言等に偏りが出ないよう、さまざまな視点から対応するよう心がけている。	・連絡帳に相談があればクラスで共有し、返事は上司に相談し、返信している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	12		・保護者会は無いが、兄弟同士の支援が行えている。 ・ニーズは高いと感じます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	17	3	・HPをリニューアルした。内容も工夫しながら、以前よりは更新頻度を重ねられるように努めている。(写真や動画にご協力いただいているみなさま、誠にありがとうございます。引き続き、よろしくお願いたします。)	・一斉周知できるようなツールがあると良いと思いました。 ・ホームページが新しくなった。 ・ホームページはあるが、SNSの発信はあまりよく分からない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20	0		・お名前が似ている方へのお知らせの入れ間違いがあり、ご迷惑をおかけしてしまうことがあった。職員間で確認し合い、再発防止に努めている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	19	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	11	・地域住民の方々とは、ご挨拶をする程度になってしまっているが、感染症対策の観点から、なかなか大掛かりな行事はしにくい現状がある。今後、状況を見て検討していきたい。	・詳細を把握できていないので、分かりかねます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	1	・策定している。また、訓練を実施した際は、引継ぎ時お伝えしている。	・しているものとそうでないものがある。 ・訓練はされている。災害はできてはいるが、防犯の訓練も取り入れて欲しい。家庭への周知までは分からない。 ・訓練を毎月行っている。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20	0	・行なっている。	・していると思う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	20	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	20	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17	3	・行なっている。	・災害訓練とは異なるのであれば、できていないと思う。

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	19	1	・行なっている。	・していると思う。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	0	・虐待防止の研修を実施している。また、毎月「自己チェックシート」を実施し、振り返る機会を持っている。 ・虐待防止委員会も月1回実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17	3	・対応しているが、現状該当者はいない。	・していると思う。 ・組織的に決まっているかは分からないため、その都度確認を行っている。